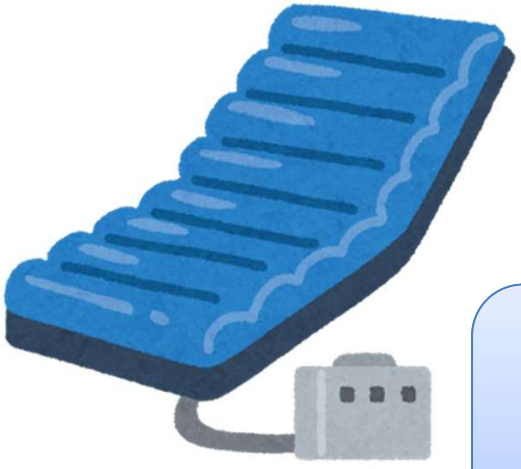
Tokyo Metropolitan Hospital
Nintei kitaryou

認定看護師便り

令和８年10月No.４
認定看護師連絡会

エアマット使用の考え方？　対象者は？

圧のかかる部位を変える＝局所圧の減圧



✕除圧ではない！！✕
⇒体位変換とはいえない

エアマット使用の対象者

- 基本的に、20kg以上
- 褥瘡形成がある
- 拘縮が強く、病的骨突出がある

離床が第一候補

筋緊張、けいれん、
不随意運動、など…
体位のズレに注意！

使用時は適切なマットの設定を！！

過去のデータは、看護科共用　→　＃認定看護師便り　より閲覧可能です！

参考文献：ナースの星WEBセミナー
褥瘡だけではない　離床に向けたポジショニングPart3
「クッション、スライディングシート、エアマットの正しい使い方」　講義資料より

文責：呼吸委疾患看護認定看護師B課程　砂岡　優美
重症心身障害認定看護師　荒木　明子